



こさがわちょう

第97号

平成21年 4月23日

議会だより

編集発行

和歌山県

古座川町議会

TEL 0735-72-3410

FAX 0735-72-1858



古座中学校入学式

平成21年3月定例会（3月11日～25日）

施政方針 2～3ページ

新年度予算・質疑応答 4～6ページ

補正予算・条例改正など 7～8ページ

一般質問に5議員 9～13ページ

意見書、議会日誌など 14ページ

健全財政で要望の実現を

《町長施政方針》

平成21年、第1回定例会の開催にあたり、平成21年度の施政方針を述べさせていただきます。

が予想され、ピーク時の平成8年度に比べて7億円以上の大幅な減額となっています。

本町の財政をみると個人住民税は、19年度には、税源移譲に伴う税制改革により、対前年度15.1%の増となっていますが、21年度見込みでは、景気の低迷等により所得の減が見られ、税の減収が懸念されます。

歳出では、町民の期待に答え、地方行政の役割を十分果たしていくためにも、創造性、自立性を高め、町民の要望に的確に応えるための条件整備を進める必要があります。

以上により、古座川町行政として財政運営が厳しい中、「地域の元氣回復」に向けて、再度基本方針を見つめ、施策の重点を明らかにし、事業の見直しを行いながら、それに見合う財源の見直しを基に、町民の要望に対応した施策を推進してまいります。

【交通通信】平成14年度から運行している「ふるさとバス」につきましては、車両購入後約7年が経過し、老朽化しております。21年度において、安全性を確保するため、バス車両の買い替えを予定しております。

固定資産税については、国有資産等所在地交付金が多くなったこともあり、19年度以降、大きな減額となつています。町税全体としては、ピーク時である平成9年度の約8割まで減少しています。

また、歳入の約半分を占める普通交付税については、21年度で対前年度比5124万9000円(3.4%)の増となつており、20年度と同程度と予想していますが、特別交付税については減少

【学童保育】保護者が就労等により、小学校下校後や夏休みなどに、保護者自らが学童を保育できないとき、保護者に代わって保育する学童保育を、平成21年度から町の事業として実施します。また、その運営は委託により行います。

【妊婦健康診査の助成】妊婦一般健康診査は、平成20年10月より助成回数を2回から7回に改正したところですが、21年度は妊婦健康診査の標準的な回数である14回に助成を拡充し、妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図ります。

【火葬場】火葬場については、平成20年度に建設工事に着手しましたが、年度内に完成できず、やむを得ず繰り越し措置を講じました。

21年度中には、建設工事を竣工し、火葬場の運営を開始いたします。

【高齢者対策】高齢者の単身世帯や高齢者のみの世帯では、食生活が充実されていない方が見受けられます。配食サービスの受給対象を、介護認定を受けている方

としていましたが、平成21年度より65歳以上の高齢者の単身世帯、高齢者のみの世帯のすべての方を対象として配食サービスを実施し、食生活の充実を図ります。利用者の居宅を定期的に訪問することで、高齢者の安否確認も図れます。

また、高齢者等は、思いがけない転倒により、骨折などの大怪我をすることがあります。手すりの設置や段差解消等により転倒を未然に防ぐことが必要です。

町では、所得税非課税世帯を対象に、身体障害者や高齢者の居宅周辺の通路整備事業や居宅内の転倒防止のための手すりの取り付けや、段差解消

の事業に補助し、利便性の向上と安全な住まいの確保に努めてまいります。

【ゆず・しきみ・千両】現在、ゆず・しきみ・千両を推奨作物として生産を奨励しているところ

です。平成21年度は、ゆず・しきみ・千両などの推奨作物と、新たな作物についての市場調査を実施いたします。

具体的には、産業振興委員会より2名、担当課より2名で市場調査を実施する予定です。



推奨三品目の一つゆず

【有休農地の活用と花づくり】遊休農地を利用して西川ではスイレン、潤野ではレンゲ、鶴川では菜の花などの景観作物が植えられ、最盛期には町内外からの見物客で賑わいをみせており、遊休農地の有効活用が図られています。このような農業活動を支援することにより、遊休農地の活用を核とした「交流型農業」を推進

します。

その1つ、「花の香りの里づくり事業」として、各地域の花作りの特性を生かし、関係団体で連絡協議会を組織し、意識の醸成を図るための研修会や勉強会を中心に事業を進める予定です。

【新たな産業の掘り起し】

ことを目的に機械化林業を進めてまいります。平成21年度にハーベスタを購入することにより、伐採から搬出までの機械化が整備できることになり

ます。

また、平成20年度は、将来的にキイジョウロウホトトギスが、特産品化できないか、その可能性を探るために、栽培研修会の開催や愛好会の組織化に取り組みました。21年度は苗の生産や、生地への植栽を行います。

昨年講演していただいた上勝町の横石さんは、産業育成の成功の視点として「地域にあるものを見つけ、活かし、できることから始める」というお話でした。

【林業】

このようなことから、日本ミツバチ研究の第一人者である玉川大学吉田忠晴教授をお招きし、研修会の開催、ハチミツの分析結果の報告会、蜜ろうキャンドルの試作などに取り組んだところですが、ニホンミツバチの養蜂が

林業の低コスト化をめざし、高性能林業機械による効率的な間伐作業システムを整備し、間伐材の活用を一層推進する

盛んな当町にとって、今後産業として育成できないか検討してまいります。

【観光・自然環境】

観光振興として、一枚岩「道の駅」の管理や観光情報マップづくりを進め、観光客の誘客に努めます。

ぼたん荘につきましては、老朽化したエアコン機器などの修繕に取り組み予定でございます。

次に、自然環境について、清流古座川を中心に県立自然公園の候補地となっておりませんが、平成21年度指定に向けて県との協議を進めてまいります。

【定住促進】

定住関係につきましては、引き続きふるさと定住センターなどと連携しながら、移住交流推進事業に努めてまいります。

生活関連施設として、潤野集会所の新築や鶴川地区で広場の整備を行う計画でございます。

【道路整備】

生活に身近な道路や橋梁の改良といった、以前

からの懸案事項を優先して実施します。まず、一級町道「下露小川線」は、3カ年の改良計画を立てて実施します。また、二級町道「南平線」は、平成21年度の工事により全線改良が完成します。

【消防・防災】

消防関係については、消防水利確保の要望のありました4地区に地震発生時にも対応した40t容量の耐震性貯水槽の設置を行います。また、消火栓の新設1カ所及び初期消火用として6t簡易型防火水槽を、1地区に設置します。

常備消防の関係では、現在古座消防署に配置している高規格救急自動車1台について、串本町から使用期間及び走行距離からみて更新時期となっているとのことであり、住民の皆様に対し、救命活動の質を落とさないためにも本年度に買い替えを行います。

【特別支援教育指導員】

普通学級に在席している児童生徒のうち、学習障害や注意欠陥多動性障

害により、学習や生活面で特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、学校として適切な対応が求められていることから、学習上のサポートを行なうための「特別支援教育支援員」を2名配置して

いるところですが、支援を要する児童の増加により、さらに1名増員して特別支援教育の充実に努めているところです。

【学校教育施設】

ゆとりと潤いのある教育環境施設として整備するため、古座中学校校舎改修工事を実施します。

【社会教育】

川崎市生涯学習事業財団と町内児童による「ふれあいサマーキャンプ」につきましても、引き続き交流を続けてまいります。

将来的には当町児童も川崎市を訪問し、さらに交流の和を広げるために、川崎市の受け入れ体制等について協議をしてまいります。

【町史編纂】

町史編纂事業につきま

しては、町内各地で聞き取り調査を実施し、編纂した「民俗編」の冊子を刊行いたします。また、最終的には平成23年度に「通史編」の刊行を目指して取り組んでいるところです。

以上、これらの施策を実施するため、一般会計の歳入歳出予算総額は、それぞれ25億8500万円とし、前年度対比2億3500万円、8・3%の減とし、国民健康保険特別会計を始めとする、8つの特別会計予算総額は、12億7439万1000円としました。

すべての会計予算では、38億5939万1000円とし、前年度対比では、2億7183万2000円、6・6%の減といたしました。

厳しい財政状況が続きますが、健全財政を堅持しつつ積極的に行政改革を推進し、多様化する町民の行政に対する要望に応えてまいりたいと存じますので、皆様方のご協力を切にお願い申し上げます。



高機能林業機械「ハーベスタ」

21年度当初予算・条例改正などを審議

3月定例会は、3月11日から25日までの15日間開催し、執行部より21年度当初予算9件、20年度補正予算10件、条例関係9件、その他1件、計29件が提出されました。また、議員からは意見書案1件を提出し、いずれも原案のとおり可決しました。

今定例会は、21年度当初予算を主として審議を行いました。主な議案について要約して掲載しています。

平成21年度当初予算

25億8500万円を可決

耐震性貯水槽4基新設工事3200万円、古座中学校校舎改修工事1660万円、ふるさとバス2台の買い換え1625万円、配食サービス420万円、学童保育の町営化341万円などの当初予算を可決した。

【質疑】

武田町長の重点施策

問 初めての予算編成にあたり、武田町長の重点施策を聞きたい。

答 緊縮財政を進めること、福祉、教育、産業振興の4点に重点をおいた。

地方財政計画の特徴

問 今年の地方財政計画の特徴について、財政当局の考えを聞きたい。

答 平成21年度の地方財政計画は、地域の元気回復

を目指していて、地方交付税の増額の中で、地域雇用創出推進費という臨時科目が計上されている。国は、普通交付税だけでなく、7%の増額と言っているが、臨時財政対策債などを含め計算すると、古座川町ではそこまでの増額が見込めない。

平成20年度より一般会計予算が減額となっているが、昨年度の火葬場建設事業費2億5000万円を除くと、1500万円の増額となっている。小さな町としては、できるだけだけの積極予算と考えている。

限界集落の状況

問 各区に運営補助を行っているが、各区の限界集落など把握しているのか。

答 3月10日現在、44区、1734戸あり、限界集落（高齢化で、65歳以上

緊急避難所の耐震化

問 緊急時の避難場所の耐震化について、人口の50%以上は、七川地域が全域。三尾川地域は、蔵土、端郷、長追、南平。小川地域は、山手、洞尾を除く地区。明神地域は、一雨。高池地域には該当地区はない。

答 緊急時の避難場所の耐震化は、直見、添野川。21年度は、松根、小川の2カ所です。

携帯電話の通話地域

問 携帯電話が不通地域の今後の対策は。

答 平成20年度は、直見、添野川。21年度は、松根、小川の2カ所です。

中学校校舎取壊し

問 旧三尾川中学校校舎取壊し工事1910万円、旧小川中学校校舎取壊し工事1600万円。取壊し後の跡地利用はどうするのか。

答 老朽化でかなり危険な状態なので取り壊すが、跡地利用については、新たな観光に利用できないか等、検討中である。

ふるさとバス

問 古座川病院の診療科目が減り、串本病院へ移行している。ふるさとバスの営業区間を串本まで延長する話は、進んでいるのか。

答 古座川病院が存続している状態で、串本への延長は非常に難しいが、調査し検討したい。



携帯電話通信用鉄塔が整備される松根地区

社協助成金

問 社会福祉協議会助成金が900万円増加している。内容を聞きたい。

答 社会福祉大会に200万円、緊急電話対策に約100万円、臨時職員に対する費用200万円などが主である。

火葬場業務委託

問 火葬等業務委託はどう考えているのか。また、職員での火葬業務を考えていないのか。

答 個人を委託先として月額20万円で募集、賃金ではなく委託料として考えている。職員での業務は考えていない。

肺炎ワクチン

問 肺炎ワクチンを検討できないうか。

答 診療所の先生や、保健師とも相談しながら検討したい。



建て替えられる潤野集会所

潤野集会所

問 潤野集会所の詳細を聞きたい。

答 築60年経過し老朽化の上、トイレ、台所も無い状態で、潤野地区からの要望を受けての建て替え。古座川材での木造建築を考えている。

花の里連絡協議会

問 新設の古座川花の里連絡協議会補助金200万円の内容は。

答 当面は、この2月から稼働している串本町の土

答

住民で立ち上げて頂き、遊休農地を活用した交流型農業を推進するものがある。

土捨場

問 平成21年3月31日で鶴川の土捨場が閉鎖するが、今後の土砂の廃棄について検討しているのか。また、跡地利用をどのように考えているのか。

答 なるべく地元業者を利用しているが、地元産品使用については、注文時に配達できるか、必要な時に数量が用意できるのか等、課題もあるが今後

捨場を考えている。跡地については、火葬場建設と残りの部分には、鶴川地区と協議しながら進めていく。

火災報知機

問 全戸に火災報知機の設置についての対応は。

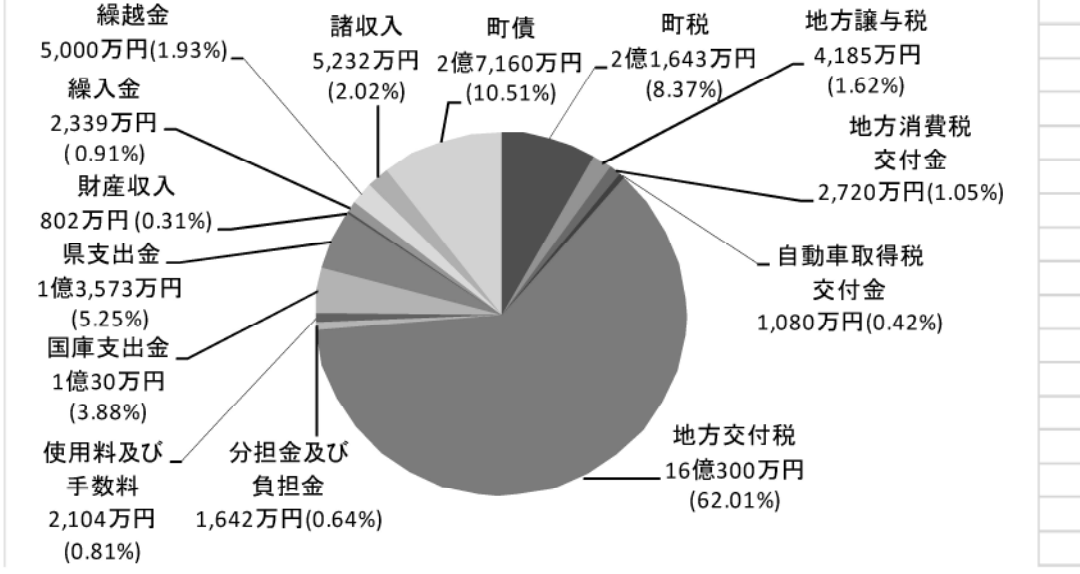
答 火災報知機が、新築住宅に対して義務化されたのは、平成18年6月1日から。既設住宅は、平成23年5月31日まで全戸に義務化されるので、調査し啓蒙活動等進めたい。

学校給食

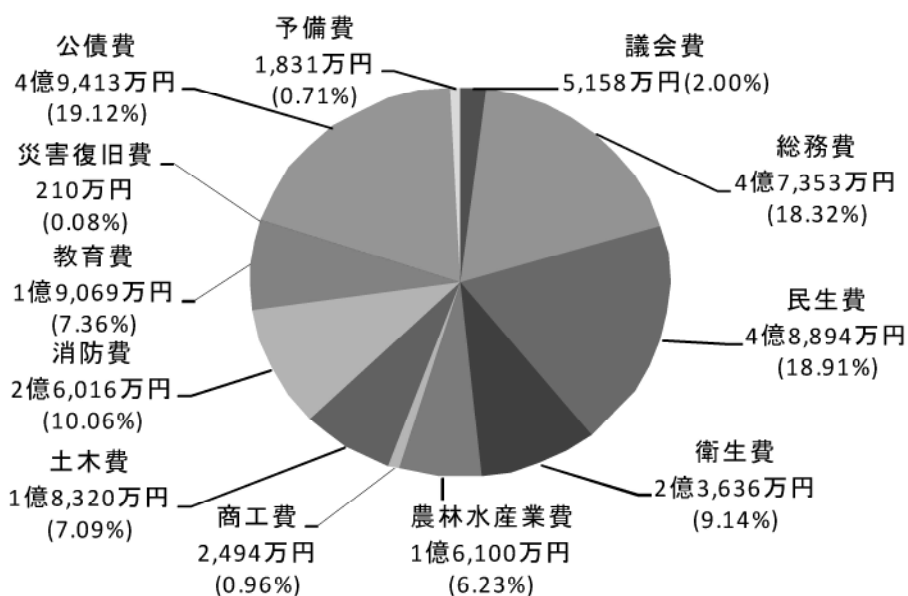
問 学校給食に対する、地場産品使用の取り組みは進んでいるのか。

答 なるべく地元業者を利用しているが、地元産品使用については、注文時に配達できるか、必要な時に数量が用意できるのか等、課題もあるが今後

《平成21年度歳入内訳(総額25億8,500万円)》



《平成21年度歳出内訳(総額25億8,500万円)》



歳出の主なもの			
目	区分	説明	金額
総務費			
財産管理費	工事請負費	旧三尾川中学校、旧小川中学校取壊し工事	3,510万円
諸費	備品購入費	ふるさとバスを買い替え(2台)	1,625万円
企画調査費	需要費	ぼたん荘修繕	1,356万円
電子計算費	委託料	個人住民税特別徴収制度対応システム改修委託	735万円
情報推進費	工事請負費	携帯電話等エリア整備工事(松根、椎平)	3,400万円
	備品購入費	携帯電話等エリア整備事業無線機器	2,660万円
民生費			
障害者福祉費	扶助費	障害者自立支援、重度心身障害児者医療等	8,265万円
老人福祉費	委託料	ささゆり運営、配食サービス事業委託等	2,323万円
児童福祉総務費	委託料	学童保育所運営委託	341万円
衛生費			
総務費	委託料	妊婦健診委託 14回分の健診に助成	152万円
塵芥処理費	備品購入費	塵芥収集車を買い替え	800万円
農林水産業費			
農業振興費	旅費	産業振興のため、市場調査を行う	62万円
	補助金	古座川花の里連絡協議会補助	200万円
山村振興対策事業	工事請負費	潤野集会所新築工事	1,500万円
林業振興費	補助金	機械化林業推進のため、ハーベスタを購入	1,040万円
商工費			
観光費	工事請負費	鶴川広場整備工事	1,500万円
土木費			
道路維持費	工事請負費	道路維持補修、道路舗装補修	1,900万円
道路改良費	工事請負費	下露小川線、南平線、下宇津木線、追野々1号線	7,941万円
消防費			
常備消防費	委託料	高規格救急自動車を購入	1,144万円
消防施設費	工事請負費	耐震性貯水槽新設工事 4ヵ所	3,200万円
教育費			
事務局費	賃金	特別支援教育支援員賃金	351万円
小学校費	需要費	三尾川小学校トイレ修繕	226万円
中学校費	工事請負費	古座中学校通路、校舎改修工事	1,830万円

条例制定・改正

学童保育所設置条例

の制定

平成19年6月から、民間団体により運営されていた学童保育所を、今年度から町営の学童保育所として運営していく。

運営の方法は、「学童保育所さきどり運営委員会」に委託する。

区分	金額
月額保育料	基本月額 7,500円
	夏休み(8月) 月額 10,000円
	春休み(4月) 月額 8,500円
	冬休み(1月) 月額 8,500円
日額保育料	平日(月休) 日額 500円
	長期(月休) 日額 7,500円を上限とする(月休) 日額 10,000円を上限とする

火葬場設置条例の制定

今年度中に完成、運転開始の予定であることから使用料等が決まる。

区分	単位	使用料	
		町内	町外
火葬	大人(満12歳以上の者)	1体につき 10,000円	50,000円
	小人(満12歳未満の者)	1体につき 6,500円	30,000円
	死胎	1胎につき 5,000円	25,000円
	人体の一部	1件につき 5,000円	25,000円
改葬	1件につき	5,000円	25,000円

町税条例の一部改正

町民税の前納報奨金を廃止。固定資産税の前納報奨金の率を100分の0・75から100分の0・5に引き下げ。

職員の勤務時間
休暇等に関する
条例の一部改正

職員の勤務時間を、1週間あたり、40時間を38時間45分に、1日あたり8時間を7時間45分に改める。

これにより、役場の業務時間は8時30分から17時15分となる。
なお、診療所も、業務時間は同様になります。

移動通信鉄塔施設
設置及び管理に関する
条例の一部改正

町が管理する移動通信用鉄塔施設、いわゆる携帯電話アンテナ施設に、新たに「直見局」「添野川局」を追加する。



補正予算

平成20年度一般会計補正予算。

旧七川中学校体育館シロアリ駆除業務委託料75万円、定額給付金関係費5847万3000円、子育て応援特別手当関係費48万3000円等を追加し、予算総額32億198万7000円となる。

【質疑】

有害駆除対策

問 サルの有害駆除を、一頭あたり3万円くらいに増額できないか。

答 平成18年度まで1万円で、19年度から1万5000円に増額している。現状のまま3、4年捕獲数、被害状況等、様子を見たい。

問 シカによる被害も相当目立ってきている。シカに対する対応も考えていただきたい。

答 今度赴任してきた北海道大学の研究林の先生が、

シカ、サルの専門家で、その方とも連絡を取り合っているが検討していきたい。

地域活性化・生活対策臨時交付金

問 地域活性化・生活対策臨時交付金は、地域の不況対策として取り組むべきではないか。

答 平成20年10月31日以降

実施の事業であれば利用でき、計画書を提出し、承認いただいている。1億8228万3000円が交付されるので、火葬場建設工事、火葬場周辺整備工事、高池小学校改修工事の一部にあて

工事費減額の要因

問 高瀬地区簡易給水施設整備工事が、3211万



改修される高池小学校校舎